

令和4（2022）年度 三重短期大学 一般選抜（法経科2部 二次募集）

入学試験問題（小論文） 解答例

問題一（80文字以内）

解答例

素人が専門知を浅く学ぶことで、メンタルヘルスの問題を抱えた人に応急処置をしたり、専門家につなぐことができるようになり、そこで適切な理解を得ることができるから（78字）

問題二（400文字以内）

解答例1

新型コロナウイルス対策では、初期には、多くの国民がメディアを通じて専門知を浅く学び、応急の感染対策をまじめに実践したことによって感染拡大を一定程度抑えることができた。しかし、コロナ禍が長引くに従って人々が徐々に感染対策に疲れてきたことから、近時は、感染症の専門家も、オミクロン株の感染者の重症化率が低いこともあって、感染対策の徹底より、人々の日常生活の維持に軸足を移しつつある。これは、著者の言う、「素人が毛を生やし、専門家は帽子を脱ぐ」例であろう。そして、こうした複眼的な思考が、新型コロナウイルス対策のような、これまでに経験したことのない複雑な問題に対応するために必要だという筆者の考えに賛同したい。諸外国と比べて日本のコロナ対策がうまくいった面があるとすれば、それは、日本国民の多くが専門知を浅く学び、それを実践できる素養を備えていたことに拠ると言っているように思う。（387字）

解答例2

新型コロナウイルス対策のような多くの人が経験したことのない問題に対応するためには、科学的な根拠に基づいた政策の立案が求められる。その場合、素人が生半可な「専門」知識に基づいて、自分勝手に判断したり、SNSで発信したりすることは、往々にして混乱を招き、結果として感染拡大防止策の有効性を阻害するおそれがある。それ故、著者の言う「素人が毛を生やし、専門家は帽子を脱ぐ」は、新型コロナウイルス対策のような、これまでに経験したことのない複雑な問題に対応するためには、却ってマイナスの効果が大きくなりかねないので、私は賛成できない。アメリカでは、ワクチンの安全性について、専門知に基づかないフェイク情報がSNSを通じて拡散したことが、ワクチン接種の遅れをもたらした。結果として社会に大きな損失をもたらした。危機に際しては、専門家の意見を十分に尊重した対策をワンボイスで発信することこそが重要なのである。（391字）